

7月8日のワークショップの進め方(ワールドカフェ方式)

●ワールドカフェとは

「知識や知恵は、機能的な会議室の中で生まれるのではなく、人々がオープンに会話を行い、自由にネットワークを築くことのできる『カフェ』のような空間でこそ創発される」という考え方に基づいた話し合いの手法。

●話し合いのルール

- ①堅くならず和気あいあいと話す、②メンバーの話を途中で遮らない、③メンバーの発言を否定しない
- ④ポジティブな意見を出す、⑤気になったことはすぐにメモする

●今回のテーマ「ステキな白石町にするために私たちができること」

「白石町の強みと弱み」を把握し、「強みを活かし、弱みを克服することで見えてくる10年後の白石町」を想像し、「実現するために私たちにできること」を考えます。

●ワールドカフェの進め方

- ・1テーブル4人ずつ座る。座席は受付にてくじ引き。
- ・机にはテーブルクロス代わりに広用紙を貼り、水性ペンを用意。
- ・本日のテーマの説明をするので、真ん中に書いてもらう。
- ・グループごとに白石町の強みと弱みについて対話をする。思いついたことや面白いと思ったことなど何でもテーブルクロスに自由に落書きする。絵を描いてもOK。
- ・15～20分後、テーブルの中の1人(ホスト)を残して自由に席替え。残った人は新しいメンバーにテーブルクロスの内容を簡単に説明し、新しく来た人は自分の席で心に残ったことを紹介し皆で共有する。※ホストは最後までテーブルを移動しません。
- ・1回目のテーブルで出た強み・弱みを活かしたり克服することで想像できる10年後の白石町の未来像をテーマに意見を書きだし、テーブルクロスに書き残す。
- ・15分後に席替えし、2回目のテーブルの内容についてそれぞれが紹介し共有する。
- ・3回目のテーブルでは、2回目の内容を聞きつつ、未来像を実現するためにこの5年間で私たちができることを話し合い、テーブルクロスに書き出す。
- ・15分後、最初のテーブルに戻り各テーブルで出た意見を報告しあう。
- ・最後にふせん紙に書き出す。強みを活かすアイデアはピンク、弱みを克服するアイデアは緑にそれぞれ書き出す。書き出すのは1枚につき1つのアイデアにするが、何枚書いてもOK。
- ・たくさん出た意見を各テーブル5つに絞って前のホワイトボードに貼り出す。
- ・出た意見を司会者が4つの柱に振り分け、全員でアイデアを共有し、今日の会議を総括する。

※今回のワークショップは自分が思うことや他の人が思っていることを共有することで、違った考え方やよりよいアイデアを生み出すための方法の1つです。